

おあしす



親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2017 **12** 第33巻12号
(通巻364号)



山の端と空にはまだ明るさが残っていたが、谷底の村はすでに夕闇に沈んでいた。ヒマラヤ山脈から流れ出た雪解け水が、長い年月をかけて大地を削り、ここザンスカールの谷を作り出した。川は薄暮の空を反射して藍色に輝き、緩やかに蛇行し、いまま滔々と流れている。いつの日にか標高三千メートルを超えるこの谷に人々が住み着き、過酷な大地とともに暮らしてきた。空に瞬く星々や窓から漏れる家々の灯りが急速に明るさを増してくると、風とともに冷気が足元から忍び寄ってきた。いくつもの山を越え、いくつもの谷を渡り、ここへやって来た。多くの人々に出会い、祈りの姿に触れ、そのたびに心が震えた。その振幅を感じるたびに写真を撮った。一枚の写真は私自身の存在証明でもある。(ストンデ僧院から)



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1 説明と納得の
医療

2 多職種の連携

3 「ここちよさ」の追求

4 社会参加の推進

電子カルテはなぜ必要か？

峡西病院では平成29年11月1日より電子カルテが導入されました。電子カルテ導入に当たっては3年ほど前から検討を始め、半年ほど前から具体的に動き始めた一大プロジェクトでした。ところが、日本では電子カルテは導入コストが高いという理由から精神科病院の電子カルテ導入率は32%程度で、当院規模の精神科病院では19%程度とかなり低い状況です。なぜかという点、例えば、通常の医療機器は導入コストが高くて使えば収入が得られるものが、電子カルテはいくら使っても1円の収入にもならないので、単に紙カルテでできる記録や保存を目的にするのであれば、こんな無駄な医療機器は必要ないこととなります。

そんな電子カルテを何故導入したのか？

それは、今まで当院の医療や業務システムの見直しや改善を行っていく中で「電子カルテであれば実現できること」があったからです。当院の強みは多職種連携と良質の医療提供であることは病院機能評価でも認められました。さらにこの強みを生かしていくためには情報の正確な共有と効率の良い医療提供という紙カルテでは成し得ない課題がありました。

職員全員が一丸となり電子カルテを導入することができましたが、今はまだスタート地点です。実現可能な道具が手に入ったので、これから絶え間ない良質の精神医療を提供していけるよう一歩一歩進んでいかなければなりません。

電子カルテ委員会 川崎 洋介

~峡西病院をご利用の皆様へ~

当院では、より良い医療を目指すため、平成29年11月1日より電子データで診療記録を残す方式をとることになりました。システム導入にあたって職員全員でリハーサルを行っておりますが、導入当初は不慣れな部分や想定外のトラブルによって、診察時間や待ち時間の延長が発生してしまうこともあるかと思っております。なにかとご迷惑をおかけいたしますが、医療サービス向上のため今後とも努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

感染予防研修 院内研修

感染標準予防策 (スタンダードプリコーション)

最近では当たり前のように耳にする「スタンダードプリコーション」。これは1996年にアメリカ疾病管理予防センターが発行した隔離予防策ガイドラインで提唱された「感染症の有無にかかわらずすべての患者に適用する疾患非特異的な予防策」のことをいいます。院内における感染予防策には2つある。まず1つ目は、スクリーニング検査をして感染症が明らかとなつた患者への対応であり、こちらは「ユニバーサルプリコーション」という。2つ目は「スタンダードプリコーション」。これは、スクリーニング検査により明らかとなる感染症の有無に関わらず、未知の感染症に対しても予防策を講じるという考え方である。すなわち全ての患者の血液・すべての体液(汗を除く)のみならず、分泌物・排泄物・傷のある皮膚・粘膜などをすべて感染源とみなし、予防策を講じることをいいます。

感染の連鎖を断ち切る

看護師の立場で感染予防策を考えるとときには、感染が起る要素として①病原体②病原体を保有する宿主③病原体の出口(元の宿主)④感受性を持つ宿主⑤病原体の入口(新たな宿主)⑥感染経路の6つの要素の連鎖を考えると業務上どうすれば良いかが分かりやすいのではないだろうか。

一般的な「感染が起る要素」はもう少し大雑把に「感染源・感染経路・感染を受けやすい宿主(感受性宿主)の3つの要素がある」とされ、感染予防のために「A.感染源の除去 B.感染経路の遮断 C.感受性宿主への対応」があげられていることが多い。いずれにしても重要なのは①病原体④感受性を持つ宿主⑥感染経路という要素であり、なかでも感染経路の遮断が最も有効な感染予防策といえる。

再度確認！具体策とその意味

スタンダードプリコーションの具体策としては、次の6点がある。

1. 患者処置時の手洗い 現在明らかな感染症が無い場合でも未知の感染症への対策として他の患者への感染経路を断つ意味で有効であり、同じ患者でも

他の部位への交差感染を予防するためには必要だ。
2. 患者の体液に触れる可能性がある場合は、手袋・マスク・ゴーグル、必要に応じてフェイスシールドや防水ガウンなどを着用する ①と同様に患者から看護師(医療者)への感染経路を断つ効果がある。眼の涙腺からの感染で劇症肝炎を起こすという事故もあるくらい、医療者側のほんの小さな入口からも感染は起こり得るのだ。

3. 鋭利な器材は適切に取り扱う これはいわゆる針刺し事故やメスなどの鋭利な刃物での負傷による感染を防ぐために必要。スタンダードプリコーションの中にはリキヤップの禁止も含まれている。

4. 使用したリネンや器材を適切に処理する 患者の血液や体液・排泄物などで汚染されたリネンが、自分の皮膚や衣類、あるいは他の患者に付着することで感染するのを防ぐための具体策だ。汚染されたリネンは水溶性のランドリーバックなどに密封して80℃以上の温水で10分以上洗浄する必要がある。しかし手間や人件費、リネン類の消耗などを考慮して、最近ではデイスポージャーに置き換わってきている。器材についても部は使用後に適切な洗浄・消毒・滅菌処理がなされるが、可能な限りデイスポージャーを使用しているところが多いだろう。

5. 環境の整備 病室・洗面所・トイレ・浴室・処置室・汚物処理室などの清掃だけではなく、清掃しやすいように整頓すること、ベッドサイドの機器やコード類も整理し使用後は清掃することを意味する。また床は汚染環境として捉え、清潔な物品等は床から20cm以上高い場所へ置く、床や壁に触れた手で患者の処置を行わない、なども具体策となる。

6. 必要な場合は患者の隔離 感染防止に対して協力が望めない患者への対応として考えられる。例えば認知症により排泄がコントロールできず、排泄物で部屋全体を汚染してしまう場合などは、他の患者への感染予防の意味で個室を考慮しても良い。

昔前であればスクリーニングで明らかな感染症がみつからなければ、非感染として扱っていたかもしれない。しかし現在では未知の感染症に対する防御策が一般的になってきている。マニュアルで決まっているからではなく、なぜこの対策が必要なのか、感染予防としての要素に関わっているのか、ちょっと考えてみると必要性が分かるだろう。

フレル病棟 近藤 忠彦

平成28年度 目標管理発表会



◆ 敢闘賞 ◆ アルプス訪問看護ステーション 竹芝 由美

目標

訪問看護の利用者が入院した時に支援を継続するため、地域支援の内容や問題点が、ひと目でわかる『訪問看護サマリー』を作成する。

※看護サマリーは患者さんの看護師間で引き継ぎたい情報を要約した報告書です。病棟⇨外来⇨病院⇨施設⇨訪問看護などの看護連携のために使用します。

目標設定の理由

訪問看護利用者が入院した際に、訪問看護ステーションから発行するサマリーシートがなかったため、病棟スタッフが知りたい情報が申し送られていないか疑問がありました。そこで病棟スタッフに、

- ①在宅生活への関心を高めてもらいたい。
②入院時から退院後の生活をイメー

このようなシートが完成しました。必要項目が、A4サイズ1枚に収められています。

Table titled '訪問看護サマリー' containing patient information, medical history, and care details.

行動計画

- ①他施設で利用されているサマリーや連携シートの資料を集める。
②連携に必要なチェック項目を検討する。
③サマリーシートを作成する。
④サマリーシートの利用を開始する。
⑤活用しながら不都合な部分を修正する。

結果

⑥有効に活用できてきているか、各部署にアンケート調査を行う。
シート作成時に特に重視した部分は、他のサマリーには記載欄がない「障害福祉サービス」「生活、療養についての、本人、家族の意向」「在宅での問題点、及び継続してほしい支援内容」の項目です。
入院となった13名の利用者に使用することができました。

その際、①サマリーの情報を入院中の看護やリハビリに『活』かしてもらおうこと。②入院生活から退院後の在宅生活へ円滑に移行できること。③訪問看護が関わっていることが分かり、早期から連携が図れること。などを意識しながら、情報提供ができるシートの作成ができたと思っ

アンケート結果

- ◆共有に役立った情報
①在宅での問題点及び継続してほしい支援内容
②病状の経過
③在宅生活の課題が細かく書いてあり分かりやすい。
◆連携に役立った内容
①在宅での問題点及び継続してほしい支援内容
②家族関係
③地域の支援者、担当者(市町村、ケアマネ、計画相談など)が書かれており、連携しやすい。

サマリー作成時、「訪問看護師から伝えたい問題点」に偏りがちでしたが、今回の取り組みを通して、「入院中も継続してほしい支援内容」を中心に情報提供することで、在宅、病棟間で、支援内容の共有ができて、切れ目のない支援の必要性について、意識を向けることができたのではないかと感じています。
今後は、アンケート結果を参考に、在宅での個別的な情報を盛り込んだサマリーの活用を進め、病棟との連携をさらに深めていきたいと考えています。



院内卓球大会

OT
だより



決勝戦



11月15日(水)院内卓球大会《天竺杯》をOT室ホールにて行いました。卓球には患者様26名職員6名がくじ引きを行い2台の卓球台で、ローリング卓球は患者様12名が競い合いました。卓球では社会福祉協議会ボランティアの三木里子さんが来院してくださり、決勝戦の審判や希望する患者様に指導や試合をしてくださいました。卓球経験のあるプリ工病棟のある患者様は、普段相手に合わせて手加減して打っている様子でしたが、三木さんとは思いつり自分らしく打って何度も笑顔が見られました。「もう年でできない」「勝つなんて無理」と言っていた方たちもいざ試合となると張り切ってプレーしていました。ベスト4に残った人達は全員外来メンバーで日頃の練習成果が発揮できたようでした。ローリング卓球では試合方式に慣れてきて皆さん闘志を燃やしていましたが、応援の人達もジャッジに厳しく審判が何人もいるようでした。リスタート病棟の認知症の患者様も卓球会場を見ると穏やかな表情になり、学生時代卓球選手として活躍していた事を話す人、優勝を狙い意気込んでいた人と和気あいあいと行いました。卓球決勝戦は昨年に引き続き精神科デイケア「フレンズ」の名取さんと久保田さんと、優勝者の名取さんは3年連続となりました。ローリング卓球の優勝者はワレル病棟の中込さんでした。今回大会を主催してくださった天竺の小林さんも皆さんの熱気に感動し、「主催してよかった」と話してくれました。怪我もなく無事一日を楽しめる事ができました。皆さん来年も頑張ってください。

デイケア Channel チャンネル

今月の

デイケア活動紹介



《プログラム名》 ソフトバレー

《活動日》 金曜日

《活動内容》

地域の体育館に行き、練習や試合を行っています。比較的運動量も多く、体力作りや発散などの目的として活用できます。またチームで行うスポーツの為、仲間とコミュニケーションをとる練習にもつながります。

《参加者の声》

- ・運動は激しいけどストレス発散になります」
- ・和気あいあいと楽しみながら行っています」
- ・「日々上手になっっているのが実感できます」

《問い合わせ》

興味がある方や参加希望の方はお近くのスタッフまでお知らせください。その後デイケアスタッフがご案内致します。



ろうけん Times ★

今月は運動会が開催されましたが、あいにくの雨。リスタート病棟との合同で行われる予定でしたが、峡西老健内での開催でした。屋内で行われましたが、皆盛り上がり、楽しいひと時となりました。怪我なくいっぱい身体を動かしたい思い出となりました。



介護保険(サービス)について

今回は、介護保険(サービス)について、精神保健福祉士の櫻井さんにお聞きしました。

Q. 介護保険で受けられるサービスには、どんなものがありますか？

大まかには、家庭に訪問してもらうサービス、施設を利用するサービス、介護予防のためのサービス、福祉用具や住宅改修にかかる費用の支給などがあります。ここでは紹介しきれないほど様々なサービスがあります。

Q. 介護サービスの対象になるのはどんな人ですか？ 費用はどれくらいですか？

65歳以上の方が対象ですが、特定の疾病がある場合は40歳からサービスを受けることができます。サービスにかかった費用の1割が自己負担となりますが、一定以上所得がある方は2割負担となります。

Q. 介護サービスを使うにはどうすればいいですか？

お住いの市町村の介護課や地域包括支援センターに相談し申請してください。
わからないことがあれば当院のソーシャルワーカーにも気軽にお問い合わせください。

Q. 介護サービスを使い始めるまでは、どのような流れになりますか？

申請した後は、聞き取りの訪問調査を受けたり、主治医に意見書を書いてもらったりして、どのくらい介護が必要かという「要介護度」の認定を受けます。
サービスのプランを立ててくれるケアマネージャーさんを選び、相談しながらサービスを利用していくこととなります。

◆抱負：一生懸命がんばります。
◆好きな色：ミドリ
◆好きな食べ物：肉・うどん



堀内 麻衣
看護師
(ブリエ病棟)

◆出身地：緬沢
◆趣味：ドライブ
◆抱負：若輩者ですが頑張ります。



杉山 晃大
看護師
(アスピール病棟)

◆好きな色：オレンジ
◆好きな場所：日向山
◆抱負：今よりもっと戦力として働けるように精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



斉藤 三恵
介護福祉士
(峡西老健)

新
入
社
員
紹
介

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者 - 医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

私の趣味の一つはマッサージです。特にオイルを使ったマッサージが好きで、マッサージにアロマの精油を使うと相乗効果でさらにリラックスできる時間になります。オイルマッサージが好き理由は、アロマの精油を使った香りの心地よさと、オイルで滑らせる感覚の心地よさです。どこに力が加わると気持ちが良い。どの場所は弱い方が良いと体が覚えていきます。受け手との相性も大切な要素です。マッサージをしていると手順や方法をいろいろ考えず、自分が「無心」になっている瞬間があり、心地よい感覚になります。たぶん自分が「無心」になった時のマッサージは、受けてくれている人にも心地の

私の趣味

良い時間になっていると感じます。最近の悩みは、マッサージ相手の友人は子育てで時間が合わずマッサージをする機会が減ってしまっていることです。そんな中でも人に喜んでもらえる事がとてもうれしい事なので、これからも機会があったら自分の友人や家族にマッサージをさせてもらいたいと思っています。まだまだ興味のあるマッサージの世界。機会があればハワイの「ロミロミ」というマッサージもいつか勉強したいと思っています。

アスピール病棟 山宮富美子

万華鏡

【誰もが食を分かち合える社会のために】

「フード・バンク山梨」皆さんも聞いたことがあると思います。タイトルはそのフード・バンクのテーマの言葉です。

近年、子供たちの貧困を取り上げたテレビや情報を目にした耳にしたと思います。

家では中々食べる事が出来ず、学校での給食がその日の唯一の食事。夏休み・冬休み・春休みは給食が食べられないので食事が二日に一回、パン一個とか、そんな情報をチョコ

イチヨイ耳にしてみました。私は「この飽食の時代に…」と少し驚きました。

十年以上前の話になりますが、娘の高校の修学旅行後「〇〇君は行かなかった」という言葉に「何、具合でも悪かったの」ときき直すと、入学時から修学旅行の積み立てをしていなかったとの事。私は学生時代の思い出作りや社会授業の一貫として誰もが参加する物だと思い込んでいました。

「生活や家庭環境は一人一人違うけど、友達や友達だから、お母さんは勉強不足だよ」と意見されたのを思い出しました。

食べたい物が食べられない、行きたい所に行く事が出来ない、子供が当たり前の事を我慢しなくてはならない。いつの間にかそんな世の中に

なってしまったのでしょうか？

フード・バンク山梨の活動は2016年頃よりテレビや雑誌で知りました。南アルプス市に法人の施設があると言う事で、9月に私も米を持って行って来ました。パンフレットをもらい活動の内容が解ってきました。

支援の方法も「時間の寄付(ボランティア)」「食事の寄付」「お金の寄付」などさまざまな仕方があります。

ストリートチルドレン・子供の貧困・虐待など子供が子供らしく生活できるような手助けが出来たら良いなと思っています。皆さんもフード・バンク山梨の小窓を少し覗いてみてはどうでしょうか。

老健 河西 初美

「こちら編集室」

気づけばもう十一月…。一年もあつという間に過ぎてしまいますね(笑)

先日、長野県・神奈川県に用事があり、行って来ました。

長野は、想像していたより寒く、道中も紅葉が綺麗でした。運転していても、紅葉の濃い場所、まだ早い場所。色とりどりで楽しいドライブになりました。

神奈川に行った時は、暖かいというより暑い(笑) この気温差にビックリ!

ちょうど、アメリカ大統領が来日中だったので、首都高速は規制され、東名経由で行ったんですが、まー混んでる…。どこの高速もバイパスも渋滞(泣)紅葉を楽しむ余裕なんて無かったです。

この時期は好きな季節ですが、朝晩寒くて、日中は暖かい。この気温差はあまり好きじゃないです(笑)

紅葉とかも昔は、興味も無かったのに、今はそんな季節の変わり目とかに『景色を眺めたりするのもいいもんだな』なんて思えるようになりました。

そんなことを友達と話をしていたら「年取ったってことだよ」と笑われてしまいました。

これからも、今まで興味の無かったこととかに、興味が出てくるんだろうな(笑)

あ

お詫びと訂正

先月号(2017年11月号)7ページの『万華鏡』記事において、執筆者の芦沢美紀主任の所属を『フレル病棟』と記載しましたが、『リスタート病棟』の誤りでした。訂正しお詫び申し上げます。

今月の予定 12月

- 8日 コメディカル部 事例学習会
- 8日～15日 山梨看護学部実習(病棟)
- 13日～21日 山梨看護学部実習(デイケア)
- 20日 認知症疾患医療センター準備委員会



表彰



当院の病院長 浅川理医師が平成29年度第64回山梨県精神保健福祉大会において精神保健福祉事業功労者知事表彰を受けました！これは長きにわたって精神保健福祉に尽力したことが表彰されたものです。

今月の1枚



第20回山梨県障害者文化展で、峡西病院の秋山睦子さんの作品『宮廷絵巻』が入選しました！おめでとうございます！

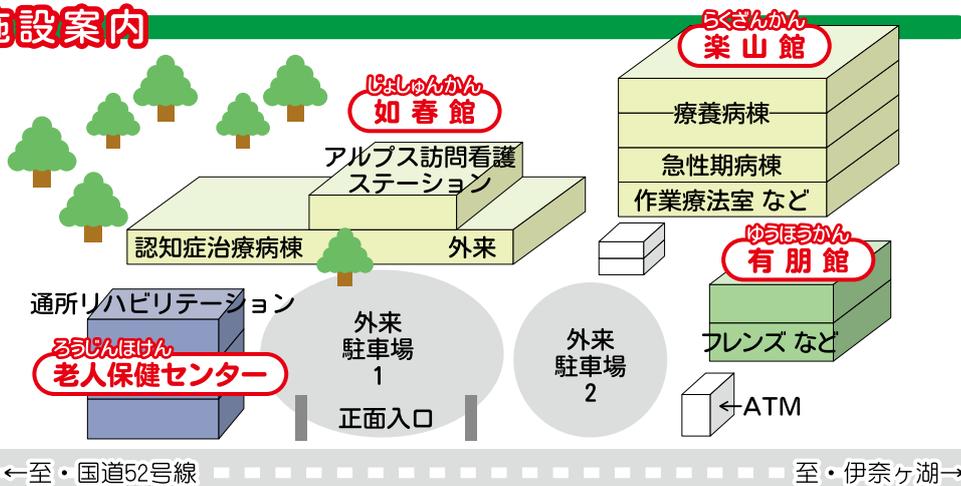
おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

ハウスにて笑顔たのしやいわし雲 今福 和人
 月光のピアノの響き月の夜 阪本みずほ
 月光にうつる我が身と歩みけり 塚原 光明
 蓬萊の 天の香久山 しみじみと 長畑 章弘
 久しぶり 表と裏の お茶会に 森山 徳子
 とまどうてぶり 春風にまう 渡辺 あき
 サンタさん プレゼントやり えんとつに 渡辺 あき
 今は ヤミの中にも 未来に希望をもって 生きていこう 渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内



交通案内

- JR中央線 甲府駅より車で40分
- JR身延線 東花輪駅より車で15分
- 中央高速 甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道 南アルプスICより車で5分
- 山交バス 甲府-南アルプス市甲西支所行き(十五所経由) 鵜沢営業所行き(西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第363号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL http://www.nan-zan.or.jp

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

若杉 雄司、齋藤 由布、坂本 幸廣、近藤 忠彦
埜村 麻美、佐藤和加子、高根 綾、櫻井 千恵

次回365号も お楽しみに!